

平成30年度予算、組織再編案を可決 副市長に本田氏（県職員）が就任

市議会3月定例会が2月22日に招集され、3月20日まで27日間の会期で開かれました。上程された議案は平成30年度一般会計予算および各特別会計予算、市組織条例の一部を改正する条例制定、副市長の選任など40件と、議員提案4件で、全てが原案のとおり可決されました。また、陳情1件が継続審査となりました。

一般会計予算

平成30年度一般会計予算は、予算総額を対前年度比2億9千万円増の129億7千万円と定められました。

予算編成にあたっては、「第2次にかほ市総合発展計画」に掲げた、まちづくりの基本理念に基づいた施策や「にかほ市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の主要施策を積極的に推進するものとし、最重要課題である「人口減少の抑制」に向け「産業の活性化」「まちの魅力向上」などに重点を置いています。

◆**主な施策**
【子育て支援】 福祉医療費の無料化を高校生まで拡大します。
【移住定住促進】 若者の地元就職を促進するため「フレッシュワーカー奨励金」を新設するほか、「移

住・Uターン推進組織」の設立により移住・Uターンの促進強化を図ります。

【産業振興】 商工業では、地元企業の設備投資等への補助制度を商業・サービス業まで拡大し、製造業の競争力強化に向けた「IoT研修事業」を新規で実施します。農林水産業では、新規就業者への研修助成を漁業、林業まで拡大するほか、経営基盤強化などの支援を実施します。

【地域公共交通】 子どもやお年寄りなどのコミュニティバス利用を無料化します。

【施設整備】 象潟公民館改修、フエライト子ども科学館展示物リニューアル、高規格救急自動車整備などの各事業を実施するほか、継続事業の平沢小出2号線道路改良事業の年度内完了を目指します。

※各事業の詳細は、5月1日発行の市政特別号で紹介いたします。

上程された主な議案

◇**副市長の選任について**
副市長の選任について、本田雅之氏の選任が同意されました。任期は、平成30年4月1日から4年間です。



略歴：湯沢市出身。昭和39年生まれ。53歳。昭和63年に秋田県職員に採用され、以後、財政や法制、政策法務などの管理・調整部門を歴任。現在は、健康福祉部医務薬事課主幹（兼）班長として医療計画を担当しています。

◇**人権擁護委員候補者の推薦**
人権擁護委員2人が6月30日で任期満了となることに伴い、佐々木由佳子氏（南金浦区）を引き続き候補者として、新たに佐々木明子氏（上町2区）を候補者として推薦することに同意されました。この後、国に推薦し、法務大臣より委嘱されます。

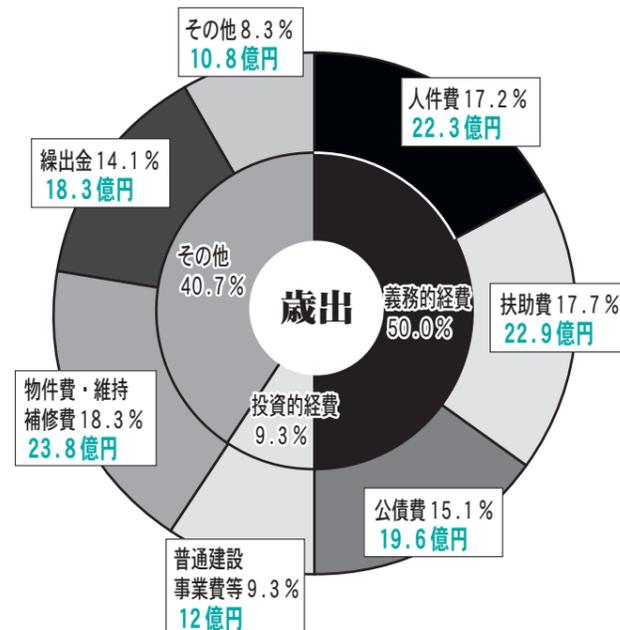
◇**にかほ市組織条例の一部を改正する条例制定について**
市政の総合的な企画および調整を図り、施策の推進により適した組織とするよう行政組織の変更を行うため、条例の一部を改正するものです。

◇**にかほ市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定**
象潟小学校大規模改修事業に伴う国庫補助金に関する不適切な事務執行により、予定されていた国庫補助金の交付を受けることができなくなった事態の責任を重く受け止め、当該事業の執行機関・教育委員会の最高責任者たる教育長の給料について、給料の10分の1、1月を減額するため条例の一部を改正するものです。

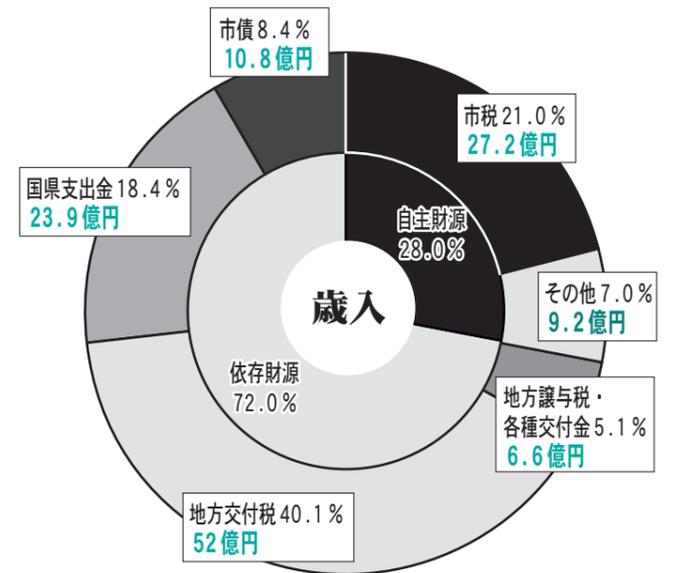
◇**にかほ市住みたいまち移住・定住促進条例制定**
移住および定住の促進に関する基本理念を定め、定住促進等に関する施策の推進を図るため条例を制定するものです。

◇**にかほ市立学校給食共同調理場条例の一部を改正する条例制定**
上浜小学校と上郷小学校の閉校に伴う所要の整備を行うため、条

【歳出（性質別）】



【歳入】



※金額は表示単位で調整しています

一般会計予算 129億7,000万円 (前年比2.3%増)

例の一部を改正するものです。

◇**にかほ市体育館条例の一部を改正する条例制定**
にかほ市運動広場条例の一部を改正する条例制定

◇**にかほ市運動広場条例の一部を改正する条例制定**
上浜小学校と上郷小学校の閉校に伴い、体育館・グラウンドを市民への一般的な利用に供するため、条例の一部を改正するものです。

◇**にかほ市プール条例の一部を改正する条例制定**
上浜小学校の閉校に伴い、同校のプールを市民への一般的な利用に供するため、条例の一部を改正するものです。

◇**にかほ市農業関連施設条例の一部を改正する条例制定**
にかほ市仁賀保農業集落多目的集落施設を用途廃止し、釜ヶ台集落に無償譲渡するものです。

◇**平成29年度一般会計補正予算（第9号）**
歳入歳出とも4億8,366万3千円追加し、予算総額は146億6,115万4千円となりました。歳入歳出とも年度末を迎えるにあたり実績見込みと予算現額の差額補正が主なものです。

各特別会計予算

国民健康保険事業特別会計	事業勘定 27億8,607万4千円
施設勘定	7,674万3千円
後期高齢者医療特別会計	3億23万9千円
公共下水道事業特別会計	12億8,951万円
農業集落排水事業特別会計	4億3,127万6千円
ガス事業会計	7億3,546万3千円
水道事業会計	10億2,092万9千円